

基本目標2 みんなが健康で安心できるくらしづくり (健康・安全)



公害の防止や自然災害からの安全を確保し、有害物質などによる人や生態系への影響を未然に防ぎます

大気環境

自動車の排ガスなどに含まれる炭化水素や窒素酸化物が、大気中で太陽の強い紫外線を受け、光化学反応と呼ばれる現象を起こし「光化学オキシダント」が発生します。光化学オキシダント濃度が基準を超えると予想されるときは栃木県から

「光化学スモッグ注意報」が発令され、市から関係機関に速やかに連絡を行うとともに、メール配信サービス【下野インフォメーション】の登録者に対して随時情報の配信を行っています。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
注意報発令回数	3	5	2	3	5

<栃木県 HP「とちぎの青空」：年度別光化学スモッグ発令状況より>

水環境

工業団地排水による影響について、工業団地等からの排水を調査することにより、水質汚濁の状況を把握しています。平成29年度は、一部測定地

点でBODの基準超過が見られました。今後、水質の状況を注視し原因の特定と水質汚濁の防止に努めます。

工業団地調整池等の水質調査結果(各年7月調査) 単位:mg/l(pHを除く)

測定項目	測定項目 (排水基準)	pH	BOD	SS	窒素含有量	リン含有量	亜鉛含有量
		(5.8~8.6)	(25)	(50)	(120)	(16)	(2)
下坪山工業団地調整池	(平成29年度)	7.4	5.8	7	4.3	0.1未満	0.1未満
	(平成28年度)	7.4	10	7	27	0.6	0.2
西坪山工業団地調整池	(平成29年度)	6.6	76	16	4.3	2.3	0.1未満
	(平成28年度)	7.3	18	2	8.5	2.5	0.1未満
柴工業団地調整池	(平成29年度)	7.5	1.7	1	16	1.3	0.1未満
	(平成28年度)	8	4.6	14	6.1	0.7	0.1未満
石橋第3工業団地排水落ち口	(平成29年度)	7.5	8.8	7	7.8	0.6	0.1未満
	(平成28年度)	7.6	8.7	12	5.8	0.6	0.1未満

※pH(水素イオン濃度)

7は中性、7より高いものはアルカリ性、7より低いものは酸性を示す。

BOD(生物化学的酸素要求量)

水中の有機物が微生物によって分解されるときに消える酸素の量。河川等の汚濁を示す代表的な指標。

SS(浮遊物質量)

水中に浮遊する水に溶けない物質の量。水の濁り度合を示す指標。

公害

市民の皆さんからの通報や職員のパトロールにより、大気汚染や悪臭などの原因となる違法な野焼きや水質汚濁等の公害発生を確認し、発生源の特定や公害の拡散防止措置などの対応を行いました。

平成29年度の公害苦情では、その他に分類されていますが雑草繁茂など土地の管理に関する苦情が多く、次いで野焼きなど大気に関する苦情が多い傾向です。

公害苦情受付件数の推移

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
大気	13	38	17	20	15
水質	2	4	0	4	1
騒音	4	9	1	3	2
振動	2	2	6	0	0
悪臭	25	3	6	1	6
土壌	1	4	1	1	0
その他	67	49	41	54	51
合計	114	109	72	83	75

※その他…空き地の雑草繁茂、空き家の管理、虫の発生など

美化活動

とちぎの環境美化県民運動の一斉清掃活動として平成29年5月30日を中心とした「ゴミゼロの日」に市内自治会や事業所による空き缶等の清掃活動を実施しました。平成28年度に比べ参加団体数は減少しましたが、事業所の参加者数は増加し、地域の環境美化に貢献していただきました。

参加自治会101自治会 6623名(平成28年度実績 129自治会 6646名)
参加事業所34事業所 861名(平成28年度実績 40事業所 757名)



自治会による清掃活動の様子